

## 令和5年度 高産振総会・理事会

令和5年5月13日(土) 午後3時～5時 高知会館

コロナ感染状況も第5類への移行となり、今年の総会は予定通りで、70名の会員の皆様の参加を戴き開催されました。総会は松本常任理事の進行で始まり、宮繁常任理事が西山会長の挨拶を代読、高知県議会議長弘田兼一様、高知県教育長長岡幹泰様からご祝辞を頂きました。また、濱田省司高知県知事様からは祝辞メッセージをいただきました。高知県高等学校長協会会長藤田勇人様、高等学校振興課課長野田健一様、高知県工業会事務局長岡林良憲様は来賓としてのご参加を戴きました。

総会の議長は、宿毛工業高等学校校長中野達也様が、議事の説明は包国勝理事長が行いました。

審議では①令和4年度事業・決算報告②の監査報告は柳井正持監事が行い一括して承認いただきました。

③役員の変動につきましては、会報に記載された役員名簿案にて報告、承認されました。

④令和5年度事業計画と予算案が提案され、いずれも拍手でご承認をいただきました。

総会後の講演は「しまんとの足もとにあるもの」と題し、(株)四万十ドラマ代表取締役睦地履正様の迫力満点の講演をいただき、充実した総会を構成することができました。以下総会の様子を写真でお知らせします。



会場は座席に余裕を持たせました。



高産振会長挨拶代読宮繁常任理事



祝辞 高知県議会議長 弘田兼一様



祝辞 高知県教育長 長岡幹泰様

3時55分から講演に入りました。

講演は株式会社四万十ドラマ代表取締役 畦地履正様で「しまんと足もとにあるもの」と題しての講演でした。「四万十川に負担をかけないものづくり」をコンセプトに、地場産業を掘り起こしながら地域発着型産業を目指し、生産者や地域と共に歩む“地域商社”として事業展開している様子や、地元資源の栗を「しまんと地栗」としてブランド化しながら、「しまんと緑茶」「人参芋」などの産地化や販売促進にも力を入れ、地域の生産者との連携を密に「しまんと流域農業 organic プロジェクト」を発足。自社工場で製造する栗・芋菓子、通販サイト「SHIMANTO ZIGURI ストア」からも全国に発送している。四万十の産業・暮らし・風景が100年後も残るよう、次世代に向けた地域産業の仕組みづくりにも挑戦している様子を熱く語られました。



講演中の畦地履正様

講演は1時間では足りない盛りだくさんの内容ではありましたが、畦地履正様の絶妙のスピーチで、講演を閉めることができました。皆様方のご協力で総会と講演会の終了を佐々木常任理事が述べることができました。今後は審議していただきました事業を推進させていただき、この時節に合った高産振の運営をしてまいります。

#### 総会懇親会

5時30分から高知会館3階平安で3年ぶりの懇親会を開催しました。

懇親会には43名の皆様の参加を戴き開催されました。松本常任理事の司会で開催され、久岡隆高産振副会長の挨拶と乾杯で懇親会が開催されました。久しぶりに開催された懇親会は、高知独特の皿鉢料理や献杯はまだまだとしても、お互いに席を立ち懇親を深める状況は、コロナ前に戻りつつあることを確認し、うれしく思いました。二時間はあっという間に経過し、懇親会の締めは高等学校振興課課長野田健一様に行っていただきました。ご参加いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願い申し上げます。

4年度の活動報告や、5年度の活動方針そして講演記録は高産振ホームページに掲載します。

5月14日 文責 理事長 包国 勝

URLとQRコードでアクセス

高知県産業教育振興会のURL <https://www.sanshinkochi.com/>



頑張る高校生のURL <https://www.sanshinkochi.com/ganbaru/>

